



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年11月13日

上場会社名	株式会社中央製作所	上場取引所	名
コード番号	6846	URL	https://www.chuo-seisakusho.co.jp/
代表者（役職名）	代表取締役社長	(氏名)	後藤 邦之
問合せ先責任者（役職名）	総務部長	(氏名)	服部 光生
半期報告書提出予定日	2025年11月13日	TEL	052-821-6166
決算補足説明資料作成の有無	: 無	配当支払開始予定日	—
決算説明会開催の有無	: 無		

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

(1) 経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	1,807	△6.5	7	△84.7	10	△78.9	48	△38.7
2025年3月期中間期	1,934	0.9	46	179.1	51	191.5	78	833.4

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	62.36	—
2025年3月期中間期	101.77	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	5,037	2,383	47.3
2025年3月期	5,009	2,356	47.0

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 2,383百万円 2025年3月期 2,356百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 42.00	円 銭 42.00
2026年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 25.00	円 銭 25.00
2026年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,700	△24.3	30	△87.3	30	△87.8	65	△70.6	84.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	784,300株	2025年3月期	784,300株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	11,701株	2025年3月期	11,603株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	772,677株	2025年3月期中間期	772,712株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	5
(3) 中間キャッシュフロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
3. その他	8
(1) 生産実績	8
(2) 受注実績	8
(3) 販売実績	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間における我が国経済は、食料品などの物価高を背景に個人消費の伸び悩みが続き、国内政治の不安定化への懸念が強まる中で国内経済は一進一退の状況が続いていました。一方、世界経済は依然として地政学的リスクが懸念されるとともに、トランプ米大統領の関税政策により不確実化が一層増大する状況にありました。

このような経済状況の中で、当社は社内での工程進捗管理を密に行い、売上計画を極力変動させない取組みを行うとともに、部材や購入品などのコストアップ要因を適切に価格に反映させる取組みを推進してまいりましたが、当中間会計期間の受注高は1,561百万円（前年同期比34.9%減）、売上高は1,807百万円（前年同期比6.5%減）となりました。損益については、一部製品における収益目標の確保が未達となり営業利益7百万円（前年同期比84.7%減）、経常利益10百万円（前年同期比78.9%減）、中間純利益48百万円（前年同期比38.7%減）と厳しい結果となりました。

今後におきましては、不確実性の高い経済状況が続くと想定されるものの、先行きの設備投資につきましては、人手不足を背景とした省人化や業務効率化のためのDXといった中長期的な課題の解決に向けた顧客の投資需要は引き続き堅調に推移すると見込まれます。こうしたニーズに対する的確な提案営業を行い、受注・売上の確保に努めてまいります。

以下主なセグメントの業績についてご説明申しあげます。

(電源機器)

電源機器につきましては、電池業界および自動車関連業界などを中心に、様々なニーズにお応えすることで受注確保に取り組んでまいりましたが設備投資に対し慎重な姿勢が見られ、受注高は698百万円（前年同期比13.3%減）となりました。一方、売上高は873百万円（前年同期比4.6%増）となりました。

今後につきましては、カーボンニュートラルの実現に寄与するインバータ方式の電源や小型電源の更なる改良を進めるとともに、汎用型電源の拡販に力を入れ、受注・売上の確保に努めてまいります。

(表面処理装置)

表面処理装置につきましては、自動車関連業界、半導体関連業界などを中心に、新規・更新需要および既存装置の改修需要の掘り起こしに注力してまいりましたが、新規案件の受注が少なく受注高は455百万円（前年同期比54.7%減）となりました。売上高は改造修理案件を中心となり542百万円（前年同期比12.5%減）となりました。

今後につきましては、引き続き新規案件の受注確保及びIoT技術を活用した予防保全システムであるCCCS-M（当社製品名）の提案や既存装置の改修提案により受注・売上の確保に努めてまいります。

(電気溶接機)

電気溶接機につきましては、自動車関連業界、鋼製家具業界などを中心に、新規及び更新需要の掘り起こしに注力してまいりましたが設備投資に対し慎重な姿勢が見られ、受注高は273百万円（前年同期比12.9%減）、売上高は250百万円（前年同期比22.0%減）となりました。

今後につきましては、新機能を搭載した溶接制御装置であるCK5（当社製品名）の市場投入により、更なる受注・売上の確保に努めてまいります。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて11.2%減少し3,329百万円となりました。これは、主として現金及び預金が533百万円、仕掛品が124百万円減少した一方、電子記録債権が123百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて35.6%増加し1,707百万円となりました。これは、主として工場建替などにより建物（純額）が656百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて0.5%増加し5,037百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて13.6%減少し1,981百万円となりました。これは、主として電子記録債務が145百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べて86.6%増加し671百万円となりました。これは、主として長期借入金が300百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて0.0%増加し2,653百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて1.1%増加し2,383百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、期首時点に比べて533百万円減少し832百万円となりました。当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、資金の減少は465百万円（前中間会計期間は収入161百万円）となりました。

収入の主な内訳は、棚卸資産の減少額169百万円であり、支出の主な内訳は、仕入債務の減少額202百万円、売上債権の増加額126百万円などであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、資金の減少は438百万円（前中間会計期間は支出189百万円）となりました。

収入の主な内訳は、投資有価証券の売却による収入56百万円であり、支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出493百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、資金の増加は370百万円（前中間会計期間は支出26百万円）となりました。

収入の主な内訳は、短期借入金の増加額100百万円、長期借入金の増加額300百万円などによるものであります。支出の主な内訳は、配当金の支払額29百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

記載の業績予想数値につきましては、2025年5月14日に公表いたしました内容を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「2026年3月期第2四半期（中間期）の業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

なお、記載の業績予想数値につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因により業績予想とは異なる可能性があります。実際の業績に与え得る重要な要因には、当社の事業を取り巻く経済環境、市場動向等が考えられます。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

	(単位 : 千円)	
	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,366,109	832,684
受取手形及び売掛金	625,215	628,587
電子記録債権	551,279	674,678
商品及び製品	125,067	101,901
仕掛品	914,665	789,869
原材料及び貯蔵品	154,621	130,998
その他	15,608	172,725
貸倒引当金	△1,800	△2,000
流動資産合計	<u>3,750,767</u>	<u>3,329,443</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	87,577	743,944
その他（純額）	434,828	220,068
有形固定資産合計	<u>522,405</u>	<u>964,013</u>
無形固定資産	19,609	10,837
投資その他の資産		
その他	723,477	733,509
貸倒引当金	△6,410	△687
投資その他の資産合計	<u>717,066</u>	<u>732,822</u>
固定資産合計	<u>1,259,081</u>	<u>1,707,673</u>
資産合計	<u>5,009,849</u>	<u>5,037,117</u>
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	196,665	139,017
電子記録債務	358,921	213,597
短期借入金	740,000	840,000
未払法人税等	53,334	8,106
契約負債	513,411	523,492
製品保証引当金	21,579	16,741
その他	409,315	240,837
流動負債合計	<u>2,293,228</u>	<u>1,981,792</u>
固定負債		
長期借入金	-	300,000
退職給付引当金	199,573	199,657
その他	160,358	172,155
固定負債合計	<u>359,932</u>	<u>671,812</u>
負債合計	<u>2,653,161</u>	<u>2,653,605</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	503,000	503,000
資本剰余金	225,585	225,585
利益剰余金	1,476,417	1,492,147
自己株式	△17,076	△17,198
株主資本合計	<u>2,187,926</u>	<u>2,203,534</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	168,761	179,977
評価・換算差額等合計	<u>168,761</u>	<u>179,977</u>
純資産合計	<u>2,356,687</u>	<u>2,383,511</u>
負債純資産合計	<u>5,009,849</u>	<u>5,037,117</u>

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	1,934,372	1,807,803
売上原価	1,378,787	1,328,627
売上総利益	555,584	479,175
販売費及び一般管理費	509,536	472,108
営業利益	46,048	7,066
営業外収益		
受取利息	1	52
受取配当金	5,486	6,493
スクラップ売却益	2,467	1,697
その他	1,314	833
営業外収益合計	9,270	9,076
営業外費用		
支払利息	3,399	5,196
その他	0	0
営業外費用合計	3,399	5,196
経常利益	51,918	10,946
特別利益		
投資有価証券売却益	38,394	51,238
特別利益合計	38,394	51,238
特別損失		
固定資産処分損	986	3,183
特別損失合計	986	3,183
税引前中間純利益	89,326	59,001
法人税、住民税及び事業税	20,527	939
法人税等調整額	△9,839	9,878
法人税等合計	10,687	10,817
中間純利益	78,639	48,183

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	89,326	59,001
減価償却費	24,368	39,235
貸倒引当金の増減額（△は減少）	7,823	△5,523
退職給付引当金の増減額（△は減少）	4,853	83
製品保証引当金の増減額（△は減少）	△19,170	△4,838
前払年金費用の増減額（△は増加）	28,247	△31,363
受取利息及び受取配当金	△5,488	△6,545
支払利息	3,399	5,196
固定資産処分損益（△は益）	986	3,183
投資有価証券売却損益（△は益）	△38,394	△51,238
売上債権の増減額（△は増加）	△106,321	△126,770
棚卸資産の増減額（△は増加）	△191,201	169,913
仕入債務の増減額（△は減少）	117,234	△202,971
契約負債の増減額（△は減少）	471,448	10,080
その他	△217,102	△281,083
小計	170,008	△423,640
利息及び配当金の受取額	5,488	6,545
利息の支払額	△3,533	△6,445
法人税等の支払額	△10,873	△41,886
営業活動によるキャッシュ・フロー	161,090	△465,427
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△232,050	△493,674
無形固定資産の取得による支出	-	△390
投資有価証券の取得による支出	△167	△177
投資有価証券の売却による収入	42,512	56,730
その他	442	△533
投資活動によるキャッシュ・フロー	△189,264	△438,045
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額（△は減少）	-	100,000
長期借入れによる収入	-	300,000
配当金の支払額	△26,779	△29,830
その他	△50	△121
財務活動によるキャッシュ・フロー	△26,830	370,047
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△55,004	△533,424
現金及び現金同等物の期首残高	1,065,391	1,366,109
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,010,387	832,684

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当中間会計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
電源機器	538,096	△28.5
表面処理装置	578,986	△47.3
電気溶接機	303,096	△3.3
その他	209,108	40.6
合計	1,629,288	△29.6

(注) 金額は、販売価格によっております。

(2) 受注実績

当中間会計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
電源機器	698,662	△13.3	673,278	△30.9
表面処理装置	455,047	△54.7	1,212,089	△48.5
電気溶接機	273,708	△12.9	216,568	18.1
その他	134,544	△51.0	227,600	△15.3
合計	1,561,963	△34.9	2,329,536	△38.3

(3) 販売実績

当中間会計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
電源機器	873,377	4.6
表面処理装置	542,726	△12.5
電気溶接機	250,029	△22.0
その他	141,670	△10.8
合計	1,807,803	△6.5